

1 目指す学校像 令和7年度

(1) 教育目標

児童生徒一人一人が個性（強み）を発揮【輝き】し、仲間や地域の「人・もの・こと」との豊かな関わり【絆】を築き、達成感・喜び【感動】を積み上げる教育を通して、「地域で主体的に生き、行動し、生活し、働き、楽しむ【自立】」ことができる人を育てる。

スローガン [友と輝き 地域に生きる（自立）]		
輝き（個性（強み）の発揮）	絆（豊かな関わり）	感動（達成感・喜び）

(2) 目標具現化の柱 ～ みんながごきげん(Well-being)な学校を目指して ～

ア <安全・安心>

守る

人権尊重を土台とした、児童生徒が心身共に健康で、安全・安心に生活できる学校

(ア) 人権を尊重しお互いを大切にし合い、笑顔に満ちあふれた学校生活を実現する。

(イ) 命を守るため、分かりやすく実地的な安全管理体制を整備し、実践力の向上を図る。

イ <授業力・専門性>

育む

児童生徒のニーズと発達を踏まえ、児童生徒が主体的に学び、強みを発揮できる学校

(ア) 児童生徒が夢中になって「できる」「分かる」喜びを実感できる授業づくりを展開する。

(イ) キャリア教育を充実し、地域で生きていくための力やその基盤を培う。

ウ <連携・協働>

つなぐ

児童生徒と教職員が、保護者や地域との豊かな関わりを積み重ね、共生社会を目指す学校

(ア) 地域等と目標を共有するとともに、地域の資源を活用し共に教育活動を推進する。

(イ) 地域に貢献できる活動を積極的に設けるとともに、児童生徒の魅力をも効果的に発信する。

エ <チーム・信頼>

働きたい

「対話」を基盤とし、教職員が意欲と笑顔にあふれ、役割を果たし活躍できる学校

(ア) 心理的安全性を高め、働きやすい職場環境の充実を図る。

(イ) 業務を工夫することで、児童生徒と触れ合う時間や授業研究する時間を確保する。

2 令和7年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア 安全・安心 (守る)	人権を尊重し合い、 笑顔あふれる学校生活の 実現	・児童生徒の成長・発達を支える生徒指導	・児童生徒の心を捉えた声掛け、励まし、称賛、対話を心掛けている教員 100% ・相手を意識して自ら笑顔で挨拶や感謝の言葉を伝える児童生徒、教員 100%	各学部 生徒指導課
		・道徳指導の充実 ・お互いを認め合い、協力し合う学級・学年づくり	・重大ないじめ0 ・「学校は楽しい」「学校に行きたい」と答える児童生徒 100%	各学部 生徒指導課 学習指導課
		・児童生徒が安心して学べる学習環境づくり	・児童生徒にとって分かりやすく活動しやすい学習の場となるように校内、教室内の整理整頓をしている教員 100% ・確実な安全点検と迅速な対応をしている教職員 100%	各学部 (学年・学級) 総務課 防災課
	命を守る、実地的な 安全体制の整備と実践力の 向上	・より実地的な危機管理マニュアルの更新による防犯/防災・減災/安全体制づくり ・関係機関や地域と連携した実地的な訓練の実施	・発災時、緊急時の自分の動きを具体的に想定できる教職員 100% ・医療的ケアを含むヒヤリハットの活用による重大な事故0	防災課 保健体育課 生徒指導課 各学部 事務部
		・体験的に取り組む、防災・健康・安全教育	・自分の命や健康を自分で守るための取組ができた児童生徒 100% ・通学途上の事故0	

イ 授業力・専門性 (育む)	児童生徒が夢中になって「できる」「分かる」喜びを実感できる授業づくりの展開	・学習指導要領に基づき12年間のつながりがある教育課程の整理	・学校全体の調和を図り、学部間／学年間の系統性を実現する教育課程が整理できたと考える教員 100%	教務課 自立活動課 学習指導課 研修課 情報教育課 保健体育課 各学部 (学年・学級)
		・個別の指導計画に基づいた指導の充実	・自立活動(「時間の指導」「各教科等を合わせた指導」)の充実を図ることができたと考える教員 100% ・PDCA サイクルを生かした授業を实践できた教員 100%	
		・教員の専門性の向上	・「対話」とおして学び合い授業づくりや生徒指導に生かした学年・グループ 100% ・校内・校外研修の学びを授業づくりに生かした教員 100%	
		・主体的な学びを促進するICT活用	・児童生徒がICTを活用して自ら学習に取り組むことができたと考えた教員 100%	
	地域で生きていくための力やその基盤を培うキャリア教育の推進	・個別の教育支援計画に基づき児童生徒に役割を持たせた主体的な教育活動の設定	・児童生徒が授業・行事等で役割をもって強みを発揮できる取組の場を設定できた学年、グループ 100%	進路指導課 各学部 (学年・学級)
		・学部間交流の充実	・他学部の教育活動を知ることができた教員 100% (参加者自身の体験、参加者の報告から)	
ウ 連携・協働 (つなぐ)	地域等と目標を共有し地域資源を活用した教育活動の推進	・学校運営協議会による学校応援体制の充実	・学校運営協議会からの助言、支援を共通理解している教職員 100%	各学部 学習指導課 進路指導課 特別支援課 情報教育課 総務課 管理職
		・地域資源を生かし、絆を深める教育活動	・地域等の「人・もの・こと」とつながる取組を実現した学部 100%	
		・学校間及び、「交流籍」を活用した交流及び共同学習の充実	・双方の成長を促した交流活動ができたと考える教員、保護者、交流先各校 100%	
	地域へ貢献できる活動の設定と児童生徒の魅力の効果的な発信	・地域貢献活動の充実	・地域から肯定的に評価される活動が設定できた学部 100%	
・Instagram等を活用した効果的な広報、発信の工夫		・発信相手(保護者、地域の方)を意識し、魅力ポイントを明確にした内容を発信することができた学年、グループ 100%		
エ チーム・信頼 (働きたい)	働きやすい職場環境の充実	・共感・安心感を得る場の設定	・対話をとおして相互理解や安心感が得られた教員 100% ・所属部署内／所属部署間でお互いを認め合い、助け合いができた教職員 100%	各学部 (学年・学級) 各分掌 職員安全衛生委員会 管理職 事務部
		・不祥事根絶への取組の徹底	・不祥事 0	
	児童生徒と触れ合う時間や授業研究の時間の確保	・計画的な自己研修、事務処理時間の設定	・タイムマネジメントができた教職員 100% ・勤務時間内に授業づくりや事務処理の時間が確保できた教員 100%	
・会議資料の事前準備と運営の工夫		・設定時間内に終了した会議 100%		